

## 医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院病理診断科では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】 胆道の腫瘍化、癌化に伴う胆管周囲毛細血管叢の変化

【研究期間】 福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2025年3月31日

【研究の目的】

最近の研究から、胆道癌は前癌病変から発生し、浸潤癌へと進展することが明らかになりつつある。胆道には生理的に胆管周囲毛細血管叢が分布しているが、胆管の腫瘍化に伴う胆管周囲毛細血管叢の変化や、癌化した浸潤癌では胆管周囲毛細血管叢が遺残するののかについての研究が行われておりません。本研究では胆管の腫瘍化、癌化に関連した胆管周囲毛細血管叢の変化、及び腫瘍化、癌化への関連、癌化後の胆管周囲毛細血管叢の遺残について検討します。この研究により、胆道腫瘍の病態解明、さらには浸潤癌と非浸潤癌の病理学的鑑別が解明されることが期待されます。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

2002年7月から2023年7月の期間に、当院で胆道腫瘍を外科的に切除された方

2. 研究に用いる試料・情報

上記対象者の病理組織標本

3. 研究の方法

パラフィン包埋切片から通常の染色（HE染色標本を含む）及び毛細血管内皮の免疫染色（CD34及び第八因子の免疫染色）を行い、胆管腫瘍の病理形態及び胆管周囲毛細血管叢の分布を検討します。

本研究は疫学研究、後ろ向き研究であり、検討する症例はいずれも当院で病理検体番号として匿名化された試料を用いて当院の研究者が単独で行う研究です。

【研究責任者】

福井県済生会病院 病理診断科 部長 中沼 安二

【本研究に関する問い合わせ窓口】

〒918-8503 福井県福井市和田中町舟橋 7-1

福井県済生会病院 病理診断科 中沼 安二

電話：0776-23-1111（代表）